

複製版
 休刊
 活動中断
 刊行できず
 発行中止
 発行不定期
 休刊
 小冊子

明治17年3月21日
 ↓
 明治31年2月28日
 ↓
 明治41年3月28日
 明治41年4月1日
 明治41年5月26日
 ↓
 大正3年3月31日
 大正4年11月10日
 ↓
 大正9年5月
 大正10年5月
 大正11年
 大正11年4月
 大正13年4月15日
 大正13年
 昭和1年12月25日
 昭和19年9月1日
 昭和20年8月
 ↓
 昭和23年10月
 昭和24年7月30日
 昭和27年8月8日
 昭和28年4月1日
 ↓
 昭和42年3月31日
 昭和44年2月10日
 昭和46年1月
 昭和50年2月1日
 ↓
 昭和56年12月1日
 ↓
 平成26年10月20日
 平成28年6月20日

1884 茨城教育協会機関誌「茨城教育協会雑誌第1号」を発刊(会員数:120名)
 「茨城教育協会雑誌」第2号(会員数:770名)

1898 「茨城教育協会雑誌第167号」(本会所蔵の最も古い号)

1908 「茨城教育協会雑誌第286号」発行
 茨城県教育会が発足(県内1市14郡の教育会が大同団結) ※従来の組織名:茨城教育協会
 雑誌「茨城教育」第1号発刊(通算第286号) ※「茨城教育」改題の文字は、弘道館記及び種梅記から撮影、印刻

本会の歴史を顧みれば、各郡に支会を設け相提携して教育の改善を謀る計画なりしを以て、当初は幾多の支会ありしが年を経るに従ひ、是等は悉く独立して何等の関係なきに至れり。爾来本会は県治の所在に位置するの団体に止まりて、協会の実なき現象を呈せり。従って数年以前より郡市聯合教育会なるものを開催して、其の連絡を保ちつつありき。茲に於いてか、識者間には本会の組織を改めて、郡市教育会を一同とせる系統的の会合をなさんとする論を唱導するに至れり。客歳二月第八回聯合教育会を開くや、この議満場の容るる処となりしを以て、十数名の委員を挙げて之に関する調査を囑し、爾来郡市教育会と次の交渉を重ね、本年三月を以て全く組織変更の手續きを了したり。

1914 「茨城教育」第358号発行 ※大正3年3月2日、3日茨城県小学校連合教授法研究会第1回研究集会概況を報告
 1915 『御大典記念号』(戦後教育に関する所見) ※大正天皇即位礼記念

1920 「茨城教育」第430号『茨城教育改造号』(明治時代の形式化、画一化からの脱却を働きかけ)
 「茨城教育」第437号『教育勅語御下賜記念号』
 1921 「茨城教育」第442号『自由教育批判号』
 「茨城教育」第459号『学制頒布五十周年記念号』
 1922 児童雑誌「課外の友 旭」発行
 1924 茨城弘道学院開院式(本会が全国教育会に率先して開設した夜間中学の発足)
 「茨城教育」第476号『第二十回関東連合教育会・茨城県教育改善発表会記念号』

1926 大正天皇崩御
 「茨城教育」第543号『行幸記念号』
 「茨城教育」第571号『戦病殉死者慰霊号』
 「茨城教育」第577号『郷土精神号』
 「茨城教育」第602号『義人慰問号』
 「茨城教育」第674号『紀元二千六百年・教育勅語渙発五十年号』第613号
 「茨城教育」第681号『科学教育特輯号』
 「茨城教育」第708号『女教員特輯号』

1944 「茨城教育」第720号をもって休刊

今や大日本教育会の大綱の中に入って「茨城県支部」として機構を整備強化し、新しい装を着けて決戦下の力強い総合教育団体として発足を見るに至ったのである。此の間本会の報道機関誌たるこの雑誌「茨城教育」は会が進めば共に進み、会が充実すれば又充実して年一年と質量共に向上し、他県に比して稀に見る模範的教育雑誌として全国に垂範して来た。他府県の会誌はこの一兩年前より既に休刊継続して、続くものは極めて少なくなったのである。本県では当事者各位がよく紙量を獲得し、又編輯に印刷に驚くべき熱意を示して今日迄本誌の刊行に当たられ、今日を成して来たのである。然し仮令尚刊行に余力はよしあっても、国策の示す所に従うべく、十九年七二〇号を最後として勝利の日迄の再刊を約して休刊せねばならなくなったのである。

1945 終戦 → 教育会解散命令
 1948 新生茨城県教育会再出発
 1949 「教育茨城」の名称をもった機関誌発行、第2号刊行できず

1952 「茨城教育」第721号発行
 1953 「茨城教育」第729号発行も経営不振から発行を余儀なく中

1967 「茨城教育」第730号復刊
 1969 「茨城教育」第733、734合併「明治百年記念特集号」 S24.07「教育茨城」 S44.02 第733、734合併

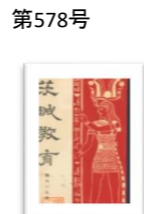
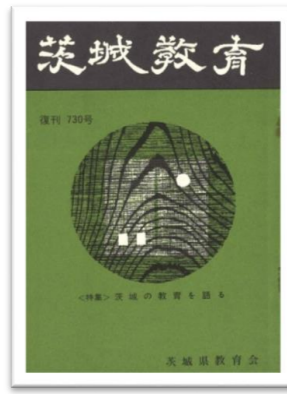
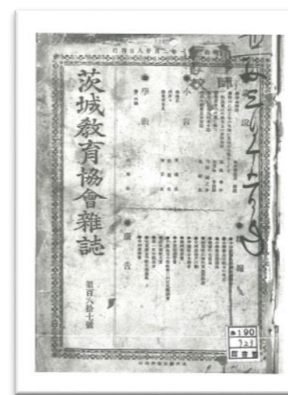
「本県は尊皇愛国の精神を以て貴く水戸学を基礎としており、且つ保守的精神の強い県民性をもっている関係上、当時の自由教育拒否の方針と相俟って、大正デモクラシーのもたらした自由教育は十分に試験されずに、時代的话题として終わったのである」(櫻村 勝「茨城教育・明治百年の推移をさぐる」より)

1971 「茨城教育」第736号以降 休刊
 1975 「茨城教育」第737号 総8ページの冊子として復刊

1981 「茨城教育」第747号復刊
 (バックナンバー あり)

2014 「茨城教育」第846号(創立130周年記念号)発行

2016 「茨城教育」第851号発行



第167号

S19.09.01 「休刊記念号」として発行された第720号

第578号

第639号

裏表紙に広告を入れていた時代も…

S27.08.08 再び「茨城教育」として発行された第721号

S42.03.31 復刊した第730号

S56.12 第747号

表紙がカラー化された第800

S50.02 総8ページの冊子として復刊された第

H26.10 創立130周年記念第846

H27.02 第847号

H27.06 第848号

H27.10 第849号

H28.02 第850号

H28.06 第851号